

川上ダム通信

2022
6
月号



令和4年5月1日に
設立60周年を迎えました

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。

<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右のQRコードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)



Vol. 202
Since 2005



川上ダム公式 Twitter で工事の進捗状況やイベント情報を随時更新中!

https://twitter.com/jwa_kawakami

ご意見・ご感想はこちらへ

<mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

副所長 (技術) 着任のご挨拶

5月1日付けで川上ダム建設所副所長(技術)として着任いたしました宮本和樹(みやもとかずき)でございます。前任の松村副所長に引き続き、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、川上ダム建設事業につきましては、昨年12月から実際に水を貯めてダム施設や貯水池およびその周辺の安全性を確認するための試験湛水を開始し、今年度のダム完成を予定しており、本格的な運用開始の一手前まで進捗しております。これは、昭和42年に当時の建設省による予備調査開始から55年の長きにわたり、地元の皆さまをはじめ、移転者および土地をお譲りいただいた地権者の皆さま、三重県や伊賀市など関係機関の皆さまのご理解・ご協力があったのことでございます。この場を借りて、改めて感謝の意を表するとともに、御礼申し上げます。

川上ダムは、洪水時に上流からの河川流量をダムで調節し下流の河川流量を低減させ洪水被害の軽減を図る洪水調節、伊賀市水道用水の供給、前深瀬川および木津川の既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進、ダム長寿命化による高山ダム、青蓮寺ダム、布目ダムおよび比奈知ダムの堆砂除去のための代替補給を実施する重要な役割を担います。ダム本格運用開始に向け、ダム機能が十分に発揮できるように、今年度は安全で確実な試験湛水の実施や最終の仕上げとなるダム周辺整備などを完了すべく事業を実施してまいります。また、地域の皆さまに愛されるダムを目指し、地元の皆さまや伊賀市などと連携して、川上ダムを活用していただく水源地域の活性化にも取り組んでまいりたいと考えます。

職員一丸となってダム完成に向け事業を進めてまいりますので、引き続き、皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



【副所長(技術) 宮本和樹】

ダム洪水対応訓練を実施しました！

水資源機構では、これから雨の多い時期を迎える前に、毎年、全国規模でダム洪水対応訓練を実施しています。現在試験湛水を行っている川上ダム建設所では、令和4年5月10日（火）～11日（水）に初めて同訓練を実施しました。

この訓練は、洪水の一部をダムから放流し、残りをダムに貯めることによりダム下流河川の流量を減らすダムの防災操作に加え、計画規模を上回る異常洪水が発生したときに行う緊急放流操作を想定し行いました。

訓練では、防災本部の設置、ゲート及び予備発電設備の点検、刻々と増加する訓練想定上の河川流量に対するダム放流量の検討、関係行政機関へダム放流に関する連絡、河川利用者へ河川の増水を知らせるためにダム下流河川に設置した放流警報施設によるスピーカ・サイレン試験、警報車を用いてダム放流前に河川利用者がいないか確認する下流河川巡視を行ない、それぞれについて実施すべき内容や手順を確認することができました。

本訓練を踏まえて、川上ダムでは試験湛水中からダムの効果を早期に発揮すべく、防災操作を実施してまいります。



訓練のようす（防災本部）



警報車による河川巡視状況

【管理課長 大高英澄】

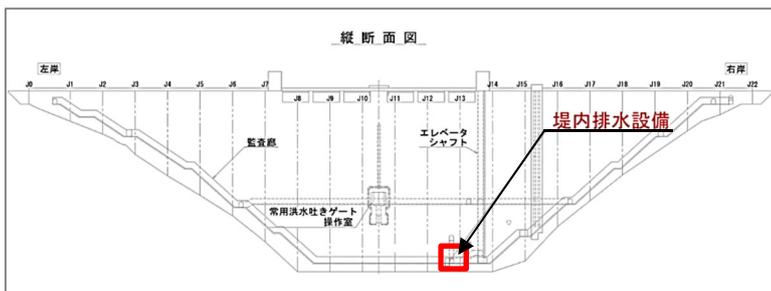


堤内排水設備の点検を行いました



ダム堤内にしみだしてきた漏水を堤外に排水するために、堤内排水設備が設置されています。排水ピットを監査廊底部に設け、3台の水中ポンプと排水管を使い排水を行っています。

堤内排水設備は試験湛水開始時の12月16日（木）から運用を始めているため、毎月点検し状態の確認をしています。現在は、点検表に紙を使っていますが、近年はタブレット端末を使用した業務支援ツールの導入が進められていることから、今後は川上ダムにおいてもタブレット端末による業務支援が行えるように、システムの構築を進めています。



堤内排水設備の位置



水中ポンプ



点検のようす



タブレット端末の点検イメージ

【機械課 高橋慶太】

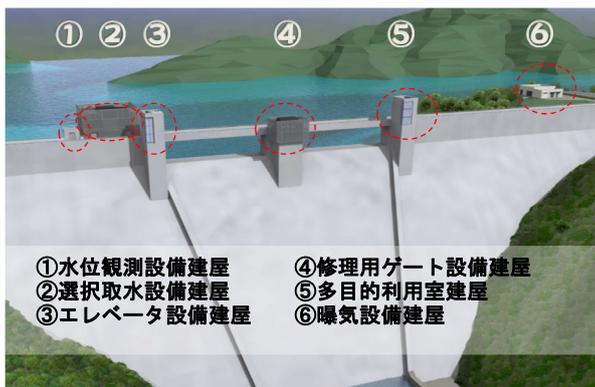


堤体建屋新築工事の進捗状況報告

ダム通信3月号に引き続き、川上ダム堤体建屋等新築工事の進捗状況をお知らせします。

本工事の建屋はダム管理機器を格納する目的があり、鉄筋コンクリート造と鉄骨造の2種類あります。右図中①③⑤⑥は鉄筋コンクリート造になり、4月にコンクリート打設が概ね終了しました。今後は内外装の仕上げ等に取りかかります。また、右図中②④は鉄骨造の建屋になり、これから柱や梁等の鉄骨材を据え付けていきます。

少しずつ、建屋の全景が見えてきました。引き続き完成に向けて取り組んでまいりますので続報をご期待ください。



- ① 水位観測設備建屋
- ② 選択取水設備建屋
- ③ エレベータ設備建屋
- ④ 修理用ゲート設備建屋
- ⑤ 多目的利用室建屋
- ⑥ 曝気設備建屋

堤体上の建屋等の完成イメージ図



建屋①のコンクリート打設が終了



建屋②の鉄骨材の据付け



空撮写真

【工務課 山田 聖】



忍者の里で Ninja 祭り！開催

令和4年5月4日（水・祝）、伊賀市種生の青山ハーモニー・フォレストにて、「第参回 忍者の里でNinja祭り！」が開催されました。このイベントは、カワサキモータース株の「Ninja」シリーズに乗る方が交流をするという趣旨で行われています。当日は大勢の方がお越しになりました。

催し物としては、カスタムされたNinja約20台で人気投票を行う「カスタムNinjaコンテスト」があり、パーツ交換や塗装をしたNinjaが見た目や機能などを競っていました。Ninja400というバイクをお持ちの方は、「スケルトンクラッチカバー（部品）は男のロマンでしょう」と部品交換の理由を説明されていました。

イベント実行委員会の岸本様は、「来年も青山でNinja祭りを行いたい」とおっしゃられていました。来年の開催時には、筆者もまた参加してみたいと思います。



大勢のNinjaファンがいらっしゃいました



コンテスト大型二輪部門で1位となったバイク



スケルトンクラッチカバーに交換（エンジン始動と同時に回転が見える）

クラッチカバーを交換したNinja400

【用地課 近藤 扶】

川上ダム紙面見学会

今回は、「川上ダム紙面見学会」第2弾をお届けいたします！
普段は見る事が出来ない場所も特別にお見せしますので、お楽しみください。

【総務課 奥野紗江】



水力発電設備もお見せします。

「川上ダム紙面見学会」では、皆さまのリクエストにお応えしますので、こういったところが見たい！など、是非「#川上ダム」でツイートしてご要望をお聞かせください！



5月上旬時点の上空からの景色です！



5月上旬時点でここまで水が貯まっています。



広報誌発行事務局

新メンバー紹介

今年度は新たなデスク1名と若手記者1名を迎え入れ、川上ダムに関する情報や地域的话题を、引き続きわかりやすく発信していきますので、よろしくお願いいたします。



写真左から
山田記者、山下記者、荒木デスク、土屋記者(新規)、津久井編集長、松浦デスク(新規)、奥野記者、北爪記者

山下記者来ているTシャツと、奥野記者が持っているトートバッグは川上ダムのダムグッズです。以下で販売しています！

【いっぷくしてだぁ〜こ】

住所：伊賀市阿保 798 番地 電話：090-4795-8868 (大田さま)

編集後記

春も過ぎ去り、梅雨を迎える時期となつてまいりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

雨が多くなるにつれ、じめじめとした気持ちにもなりそうですが、筆者はダムが如く雨を呑み込む勢いで日々奮闘していきたいと思つています。

皆さまにおかれましては、体調を崩されないようお気をつけください。

【広報誌発行事務局】

編集長	津久井 (所長)	松浦 (工務課長)		
デスク	荒木 (総務課長)	北爪 (管理課)	近藤 (用地課)	
記者	奥野 (総務課)	山田 (工務課)	山下 (工事課)	土屋 (機械課)

